

制酸剤

日本薬局方

炭酸水素ナトリウム

「タイセイ」

Sodium Bicarbonate

日本標準商品分類番号	
872344	
承認番号	(60 AM)4266
薬価収載	1985年10月
販売開始	1985年10月

貯 法：気密容器

使用期限：3年（箱に表示の使用期限を参照すること）

【禁忌】（次の患者には投与しないこと）

ナトリウム摂取制限を受けている患者（高ナトリウム血症、浮腫、妊娠中毒症等）[ナトリウムの貯留増加により症状が悪化するおそれがある。]

【組成・性状】

1. 組成

炭酸水素ナトリウム99.0%以上を含む。

2. 製剤の性状

白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく特異な塩味がある。

【効能・効果】

（経口）

- ・下気疾患における制酸作用と症状の改善。胃・十二指腸潰瘍、胃炎（急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む）、上部消化管機能異常（神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む）。
- ・アシドーシスの改善、尿酸排泄の促進と痛風発作の予防。

（含嗽・吸入）

- ・上気道炎の補助療法（粘液溶解）。

【用法・用量】

炭酸水素ナトリウムとして、通常成人1日3～5gを数回に分けて経口投与する。

含嗽、吸入には1回量1～2%液100mLを1日数回用いる。
 なお、年齢、症状により適宜増減する。

※【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- 1) 重篤な消化性潰瘍のある患者 [胃酸の二次的分泌（リバウンド現象）により症状が悪化するおそれがある。]
- 2) 腎障害のある患者 [ナトリウムの貯留により症状が悪化するおそれがある。]
- 3) 心機能障害のある患者 [ナトリウムの貯留により症状が悪化するおそれがある。]
- 4) 肺機能障害のある患者 [症状が悪化するおそれがある。]
- 5) 低クロル性アルカローシス等の電解質失調の患者 [症状が悪化するおそれがある。]

2. 相互作用

1) 併用禁忌（併用しないこと）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
マンデル酸 ヘキサミン ・ウロナミン 腸溶錠	本剤はヘキサミンの効果を減弱させることがある。	ヘキサミンは酸性尿中でホルムアルデヒドとなり抗菌作用を発現するが、本剤は尿のpHを上昇させヘキサミンの効果を減弱させる。

2) 併用注意（併用に注意すること）

本剤は制酸作用等を有しているため、他の薬剤の吸収・排泄にも影響を与えることがある。

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
大量の牛乳、 カルシウム 製剤	milk-alkali syndrome（高カルシウム血症、高窒素血症、アルカローシス等）があらわれるおそれがあるので、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合に投与を中止すること。	機序：代謝性アルカローシスが持続することにより、尿細管でのカルシウム再吸収が増加する。 危険因子：高カルシウム血症、代謝性アルカローシス、腎機能障害のある患者

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類・頻度	頻度不明
代謝異常 ¹⁾	アルカローシス、ナトリウム蓄積による浮腫等
消化器	胃部膨満、胃酸の二次的分泌（リバウンド現象）

注）これらの症状があらわれた場合には、減量又は投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

【薬効薬理】

- ・速効性、全身性の制酸作用を示す。CO₂を発生し、胃粘膜を刺激して、二次的に胃酸分泌を促す。
- ・尿をアルカリ化して尿酸の排泄を促す。尿路結石を予防する。
- ・局所性の粘液溶解作用を示す。これは粘液をアルカリ化するためである。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名： 炭酸水素ナトリウム

化学名： Sodium Bicarbonate

分子式： NaHCO₃

分子量： 84.01

【取扱い上の注意】

配合変化：重金屬、アルカリ土類金屬塩、石灰水、多くのアルカリイド塩、アクリノールと配合すると水溶液では沈殿する。また酸類、酸性物質とは中和して、互に変化を起こす。ヒヨスチアミン、その他の生薬製剤では分解を起こしたり、原料に由来する酸性物質などが反応を起こすこともある。アスピリン、ジキタリス製剤、抱水クロラールとは混濁を、クエン酸ナトリウムとは条件によって混濁を、還元鉄、サリチル酸ナトリウム、タンニン酸とは変色を、フェノバリン、硫酸鉄とは条件によって変色を起こす。

【包装】

500g

【主要文献】

- ・第13改正日本薬局方解説書（廣川書店）
- ・大成薬品工業株式会社 社内資料

【文献請求先】

〒 833-0055 福岡県筑後市大字熊野字屋敷998-1
 大成薬品工業株式会社 管理本部
 TEL. 0942-53-4662